

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。

めざせ、均等待遇。

なくそう差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

第34回平和の灯リレー

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙 「みらい」
NO. 3876
18年7月31日(火)
・Fax 095-828-1953

おはようございます。

異例のルートで九州を通過した台風ですが、九州南部に停滞し西へ向かう予想です。今回の台風もそうですが、このところ自然災害に関しては想定外の事が各地で起こっています。自分は大丈夫だろうではなく非難も含めて早めの対応が重要ではないでしょうか。

7月27日(金)第34回反核平和の灯リレーのランナーとして今年も山田書記長が老体？にむち打って、核兵器廃絶、恒久平和を訴え走ってきました。

我々の受け持ち区間はつっしヶ丘入口バス停前から馬場バス停までの2区間合計3.1キロ。スタート地点は諫早地区労と長崎地区労の引き継ぎ

地点でもあり、簡単なミニ集会が開催され、山田書記長も「連日の猛暑の中繋いでできた平和の灯を絶やすことなく、次のランナーに繋げていきます」と決意を述べました。



連日の猛暑の中での仕事の疲れや、加齢による体力低下で無事完走できるのかが心配されましたが、幸い天気は曇りで沿道の声援や伴走車の方々の励ましで、何とか完走



することができ、次のランナーにバトンタッチしました。

7月19日に平和公園をスタートした反核平和の灯リレーは、長崎県内を一周し最終日の7月27日まで灯を消すことなく無事にゴールしました。来年もまた走ります。

職場の声

今年度に入り、集配営業部では非正規社員を中心に退職が続いています。その影響で各部とも要員不足が深刻で「休みがとれない」「廃休で5連勤、6連勤が当たり前になっている」「などの声をよく耳にします。

さて、ここで廃休の関係です。勤務指定は4週間に4日の週休と4日の非番日を付与する形になっている(非正規社員はこの限りではない)非番日労働、休日労働などの廃休は労使間で36協定を締結しているので問題はありませんが、指定のあり方に疑問を感じる社員が多数います。本人同意なく廃休が指定されている。年末年始のように廃休を指定される社員が平等ではない。非正規社員を中心に指定されている。

別にこのことが違法ではありませんが、連日の猛暑の中、繁忙期でもあり、全社員の疲れはピークに達しています。限られた人員で勤務指定を作成する方も大変な事ばかりですが、社員への配慮も必要ではないでしょうか。



未来3873号の記事で、会社から事実と異なるとの申し入れがありましたが修正します。

「この繁忙期間中長中局は集配外務の社員を募集していません。ということ、現在の人数で十分やれるということでしょう」と掲載しましたが、会社は繁忙期間の短期ユウメイトは募集してないが、現在の人数で十分やれるとは考えておらず常時長期のユウメイトは募集しているとのこと。また、交通事故が発生する要因の一つとして要員不足があると我々は考えていますが、今回の未来で取り上げた事故に関しては、本人も要員不足は関係していないと事故事例研究会で発言している。この部分は修正します。

今後のスケジュール

「8・8平和を考える長崎集会」

例年と場所を変更し、桜町の勤労福祉会館3F大会議室で18時より開催します。

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-御手洗, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-山口, ゆうちょ銀-上筋, 他支部・分会の役員へ。